

農業文化園・戸田川緑地(南地区)の魅力向上について (基本的な考え方)

【趣旨】

農業文化園・戸田川緑地(南地区)は、名古屋市西部の農業地域を代表する農業公園として、また広大な芝生広場や「とだがわこどもランド」等を有する都市公園として、開園後30年にわたり多くの市民に親しまれてきた。

これまで以上に農業地域の特性をいかし、より一層魅力的な公園とするため、地元農家の農産物を買ったり、味わったりできるサービス、気軽に農を体験できるサービスなど、民間活力も積極的に取り入れながら、市民の農への関心を高め、みどりの中で多様な世代が一日中楽しむことができ、地域の誇りとなる公園をめざす。

めざす公園像

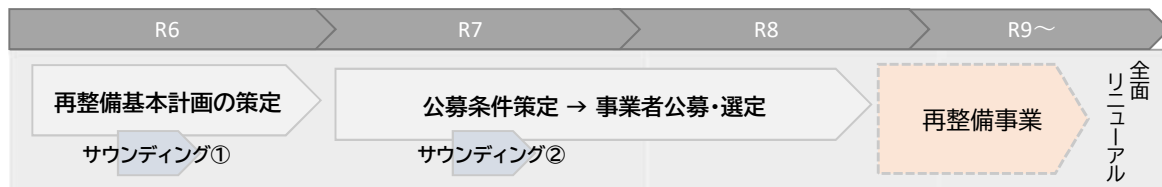
～農と自然にふれあい、まなび・あそび・元気になる公園～

再整備の方針

農を体感する	こどもが成長する	みどりをを感じる
体験	楽しむ	
農と触れ合うきっかけや農の体験の場となる空間	こどもたちがみどりの中で遊びながら成長できる空間	多様な人がみどりの中で体と心が元気になる空間
農を実際に体験する	こどもたちの心に残る農やみどりの体験	広々とした空間でみどりを感じゆったりと過ごす
例) 収穫体験農園 農産物加工体験など	例) 学校向け体験プログラム 森づくり体験プログラム	例) 芝生広場、散策路 BBQ広場、カフェ、 テイクアウト施設など
多様な人が農を知る	幅広い年齢のこどもたちが遊ぶ	季節の花々や木々を楽しむ
例) 農インフォメーション 農産物栽培講習会など	例) アスレチック遊具 障害物レース場など	例) お花畑、並木道 花を育てる講習会など
地元農産物を楽しむ空間		
例) 産直市場 農産物レストランなど		
農業イベント等を楽しむ		
例) マルシェ イベント広場など		
		

今後のスケジュール(想定)

民間アイデアやノウハウを積極的に活かすため、本市の基本的な考え方を示したうえで民間事業者との対話（サウンディング）を重ね、市民意見も取り入れながら再整備事業を進める。令和6年度のサウンディング①では、民間事業者のアイデアや事業性を調査し、令和7年度のサウンディング②で具体的な公募条件を整理したうえで、令和8年度にかけて事業者公募・選定を実施する予定である。



【ゾーニング例】

※配置に関する整備条件を示したものではありません

